

令和7年度 いじめ対策総点検 事例検討資料

事例

木曜日の2限にAとBと一緒に保健室を利用した。養護教諭が話を聞くと、2人は以下のように述べた。

B：「昨日、DのスマホにAが下着姿の写真があった。」

A：「今日は教室に居たくない、すぐに早退したい。母親には言わないで。」

養護教諭は、Aが帰宅する前に詳しい事情を確認する必要があると考え、いじめ対策推進教員に報告することにした。

※ AとBは2年1組、Dは2年2組の生徒とする。(AとBは女子、Dは男子)

場面1 組織的対応

- 1 養護教諭にAとBから相談がありました。学校でこのような事案が起きたらどのように対応しますか。事案発見から第1回いじめ対策会議を開催するまでに学校がやるべき対応を考えてみましょう。

場面2 第1回いじめ対策会議の開催

3限に学年主任と推進教員がAとBから聴きとりをしました。(3限は担任が授業)
それを受けて、いじめ対策会議で以下のことが報告されました。

＜Aについて＞ ※現在保健室で母親の迎えを待っている。14時頃到着予定。

- ・Cと数日前まで交際していた。交際中に2人で下着姿の写真を撮影したことがある。
- ・母親に伝えることについて、しぶしぶ了承した。

＜Bについて＞ ※聴き取り後、教室に戻った。

- ・昨日の放課後、Dと2人で話している時に、Dが「こんなの送られてきた。やばくね?」と言い、写真をみせてきた。個人ラインにCが送ってきたと言っていた。
- ・写真には、Aが映っており、下着姿だった。
- ・Dに事情を確認してもよい。

※ AとBは2年1組、CとDは2年2組の生徒とする。(AとBは女子、CとDは男子)

2 聴きとった内容が報告されました。これを受けて、いじめ対策組織としてどのような対応方針を立てますか。

場面3 第2回いじめ対策会議の開催について

※校長が、警察に「画像の拡散防止のために教員が画像を確認したい」という旨を連絡し、了承を得ていることとする。

Aは母親とともに早退し、DとCからは聴きとりをすることができた。それを受けて、いじめ対策会議で以下のように報告されました。

＜A母親の反応について＞ ※担任と学年主任が状況を説明した。

- ・ Cの行為が事実であれば、ひどい。他に広まっていないか心配である。画像の拡散状況を確認して、すべて削除してほしい。
- ・ AがCと一緒に写真を撮ったのであれば、Aにも問題があった。
- ・ 現時点では、警察への相談は考えていない。

＜Dについて＞

- ・ 2日前、CからAの写真（下着姿）が送られてきた。ラインに反応しなかった。
 - ・ 他人には送っていないが、どうしたら良いか分からず、Bに見せた。
- ※教員がスマホを確認したところ、Aの顔が分かる下着姿の画像だった。

＜Cについて＞

- ・ DにAの写真（下着姿）を送ったのは事実である。
- ・ Aと別れたことに納得できず、気を紛らわせるために送った。
- ・ 写真は、Aと交際時に2人で撮影した写真をAの部分だけ切り取ったものである。
- ・ Dとのライン以外には送っていない。画像はまだスマホにある。

3 学校の説明に対するA母親の捉えや、CとDの聴きとり結果を共有しました。このあとのようなことに留意して対応しますか。

場面 4 その後の対応

木曜日の夕方、A保護者に担任が電話連絡をし、場面3で確認した配慮事項に留意しながら知り得たことや、明日からのAの配慮事項等を連絡した。母親は話をよく聴き、状況を理解している様子であった。しかし、翌朝、以下のような連絡があった。

＜金曜日の朝、母親からの電話＞

- ・昨夜、Aと両親で話した。Aには、画像を撮らせたことについて指導した。
- ・今回の件について、警察に被害届は出さないことにした。
- ・Cからの謝罪はいらないが、Aが「Cの顔は見たくない。学校に行きたくない。」と言っているので、今日は休ませる。

4 翌日、Aは学校を欠席してしまいました。今後、学校としてどのような配慮や対応をしていきますか。

場面 1 組織的対応 事案発見から第 1 回いじめ対策会議まで ポイント

- ① 事案を把握した教員から、いじめ対策推進教員（以下、推進教員）及び管理職まで迅速に報告されているか。
- ② 校長はこの事案を「いじめ疑いあり」と第一次判断して、今後の対応策を集まれる職員で検討するために、対策会議の招集を指示しているか。
- ③ AとBの聴き取り担当者や流れ、確認項目、配慮事項等を検討しているか。
- ④ 組織に報告の際、Aの心情に配慮し、1人にしないようにしているか。
- ⑤ Aが「母親に言わないで」と言った理由を丁寧に聴いたうえで、母親に伝える了承を得るための手立てを講じているか。
- ⑥ 保護者に迎えを依頼し、Aの状況を伝える見通しを持っているか。
- ⑦ Bから聴き取り後、B保護者への連絡する見通しを持っているか。
- ⑧ Dをよく知る教員から、本日の出席状況や最近の様子などを確認しているか。
- ⑨ 重大事態の疑いの有無について検討されているか。
- ⑩ 警察との連携の必要性について検討されているか。

場面 2 第 1 回いじめ対策会議の開催 ポイント

- ① 警察と連携して対応することを検討しているか。
- ② A保護者に事情を伝える担当者や流れ、確認項目、配慮事項等を検討しているか。
- ③ 保護者の受け止めや意向を確認することを検討しているか。
- ④ CとDへの聴きとり担当者や流れ、確認項目、配慮事項等を検討しているか。
- ⑤ 画像の取り扱いや確認方法について検討しているか。
- ⑥ Bの心情を配慮することを検討しているか。
- ⑦ 職員への情報共有について、確認する見通しを持つことができたか。
- ⑧ 聴き取り、会議、対応の流れを記録することについて確認しているか。

場面3 第2回いじめ対策会議の開催 ポイント

- ① 警察と連携した対応をしているか。
- ② Aの被害が確認されたことをA保護者に連絡することや連絡時に伝える内容を検討しているか。
- ③ Cへの指導方針を検討しているか。
- ④ C保護者に迎えを依頼し、Cの状況や学校が把握した事実を説明しているか。
- ⑤ Dへの指導方針を検討しているか。
- ⑥ 明日以降のAへの配慮事項を検討しているか

場面4 その後の対応 ポイント

- ① 再登校の際、Aが安心・安全に生活できるよう配慮事項を検討しているか。
- ② 再発防止のための取組を講じているか。
- ③ Aの欠席が長引いた場合の対応について検討しているか。
- ④ 警察と連携した対応をしているか。